

平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月10日

上場会社名 岡本硝子株式会社

上場取引所 東

コード番号 7746 URL <http://www.ogc-jp.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡本 毅

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役コーポレートサービス部長 (氏名) 阿部 裕

TEL 04-7137-3111

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	1,444	21.7	49		25		8	
29年3月期第1四半期	1,186	17.7	8		64		123	

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 12百万円 (%) 29年3月期第1四半期 132百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	0.42	
29年3月期第1四半期	6.53	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	6,624	1,422	21.5
29年3月期	6,627	1,410	21.3

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 1,422百万円 29年3月期 1,410百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		0.00	0.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,814	8.2	23	6.9	54		58		3.00
通期	5,856	9.6	168	13.8	53	19.9	36	16.9	1.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	19,326,440 株	29年3月期	19,326,440 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	709 株	29年3月期	709 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	19,325,731 株	29年3月期1Q	18,949,831 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国では、雇用増加を背景とした個人消費により景気の拡大を続け、ヨーロッパ地域では、ドイツなどで景気が回復しており、中国では、各種政策効果などにより景気は持ち直しをみせております。日本経済は、雇用・所得環境が改善するなかで、堅調な個人消費により、景気は緩やかな回復基調を続けております。

プロジェクターの需要は、おおむね横ばいで推移しておりますが、前年度の熊本地震によるプロジェクター製造サプライチェーンへの影響がなくなり、当社グループの反射鏡およびフライアイレンズへの需要は増加しました。

平成29年8月に反射鏡を生産する新潟岡本硝子株式会社のガラス溶融炉1基が定期炉修に入るため、成型工程までの仕掛品増産を進めました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高1,444百万円(前第1四半期連結累計期間比21.7%増)、経常利益25百万円(前第1四半期連結累計期間の経常損失64百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益8百万円(前第1四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純損失は123百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①光学事業

当第1四半期連結累計期間の売上高は1,006百万円と前年同期と比べ174百万円(21.0%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は211百万円と前年と比べ90百万円(74.6%)の増益となりました。

プロジェクター用反射鏡は、販売数量が前年同期比37.9%増加し、売上高は15.6%増加いたしました。フライアイレンズは、販売数量が前年同期比で28.4%増加し、売上高は33.0%増加いたしました。

②照明事業

当第1四半期連結累計期間の売上高は171百万円と前年同期と比べ28百万円(20.3%)の増収となり、セグメント損失(営業損失)は10百万円と前年と比べ37百万円(前第1四半期連結累計期間のセグメント利益は27百万円)の減益となりました。カーナビ用等特殊カバーガラスの売上高は増加いたしました。需要が漸減しているヘッドレンズ、フォグレンズは、平成28年9月でガラス溶融炉での量産を終了し、当期は備蓄在庫及びびるつぼ炉での小ロット生産で対応しているため売上原価が増加しました。

③その他

当第1四半期連結累計期間の売上高は266百万円と前年同期と比べ53百万円(25.3%)の増収となり、セグメント損失(営業損失)は27百万円と前年と比べ11百万円(前第1四半期連結累計期間のセグメント損失は39百万円)の増益となりました。フリット(ガラス粉末)の売上高が増加いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末と比べて2百万円減少し、6,624百万円となりました。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ95百万円の減少となりました。この主な要因は現金及び預金が191百万円減少し、受取手形及び売掛金が116百万円増加したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ93百万円の増加となりました。有形固定資産が103百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ2百万円の減少となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ144百万円の増加となりました。この主な要因は、短期借入金が96百万円増加したことなどによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ159百万円の減少となりました。この主な要因は、長期借入金が159百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は15百万円の減少となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ12百万円の増加となりました。この主な要因は、利益剰余金が8百万円増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月15日に公表いたしました平成30年3月期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	569,437	377,981
受取手形及び売掛金	1,035,294	1,151,490
商品及び製品	627,999	592,982
仕掛品	384,692	385,845
原材料及び貯蔵品	64,988	56,185
その他	56,994	78,915
貸倒引当金	△16	-
流動資産合計	2,739,392	2,643,399
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,217,301	1,194,172
機械装置及び運搬具(純額)	722,555	715,136
土地	703,014	703,014
リース資産(純額)	42,742	38,639
建設仮勘定	676,581	818,505
その他(純額)	71,559	67,775
有形固定資産合計	3,433,755	3,537,243
無形固定資産	13,696	11,979
投資その他の資産		
投資有価証券	336,405	326,929
その他	104,146	105,179
投資その他の資産合計	440,551	432,108
固定資産合計	3,888,003	3,981,330
資産合計	6,627,395	6,624,730
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	519,976	500,843
短期借入金	224,000	320,000
1年内返済予定の長期借入金	626,961	626,973
リース債務	42,496	37,601
未払法人税等	18,253	19,396
賞与引当金	41,529	62,677
未払金	222,243	273,710
その他	124,764	123,622
流動負債合計	1,820,224	1,964,825
固定負債		
長期借入金	3,115,726	2,956,030
リース債務	6,874	-
繰延税金負債	24,147	24,871
退職給付に係る負債	192,284	196,832
資産除去債務	43,453	44,824
その他	14,635	14,635
固定負債合計	3,397,122	3,237,194
負債合計	5,217,347	5,202,019
純資産の部		
株主資本		

資本金	2,095,307	2,095,307
資本剰余金	333,902	333,902
利益剰余金	△1,121,199	△1,113,166
自己株式	△421	△421
株主資本合計	1,307,589	1,315,621
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	42,935	44,942
為替換算調整勘定	34,965	38,352
退職給付に係る調整累計額	24,558	23,795
その他の包括利益累計額合計	102,459	107,089
純資産合計	1,410,048	1,422,710
負債純資産合計	6,627,395	6,624,730

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	1,186,569	1,444,049
売上原価	870,142	1,067,171
売上総利益	316,426	376,878
販売費及び一般管理費		
役員報酬	18,694	22,013
給料及び手当	96,684	89,307
退職給付費用	5,065	3,138
減価償却費	9,311	10,056
旅費及び交通費	10,936	12,154
支払手数料	15,842	22,682
運賃	20,252	21,635
賞与引当金繰入額	9,266	7,971
研究開発費	50,584	46,732
その他	88,330	91,896
販売費及び一般管理費合計	324,968	327,589
営業利益又は営業損失(△)	△8,542	49,288
営業外収益		
受取利息	23	8
受取配当金	2,239	1,773
助成金収入	101	58
業務受託料	5,931	4,139
その他	1,787	4,284
営業外収益合計	10,083	10,264
営業外費用		
支払利息	14,872	14,272
為替差損	33,097	5,045
持分法による投資損失	16,498	13,596
その他	1,841	1,328
営業外費用合計	66,309	34,242
経常利益又は経常損失(△)	△64,768	25,310
特別利益		
固定資産圧縮額戻入益	9,483	-
特別利益合計	9,483	-
特別損失		
固定資産除却損	0	37
固定資産売却損	-	2,192
補助金返還損	17,669	-
希望退職関連費用	47,762	-
特別損失合計	65,432	2,230
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△120,717	23,080
法人税、住民税及び事業税	2,723	14,776
法人税等調整額	260	271
法人税等合計	2,983	15,047
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△123,700	8,032
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△123,700	8,032

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△123,700	8,032
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,516	2,007
為替換算調整勘定	△11,419	3,386
退職給付に係る調整額	11,938	△763
その他の包括利益合計	△8,996	4,630
四半期包括利益	△132,697	12,662
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△132,697	12,662

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	光学事業	照明事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	831,455	142,882	974,337	212,231	1,186,569
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	831,455	142,882	974,337	212,231	1,186,569
セグメント利益又は損失(△)	121,061	27,017	148,079	△39,133	108,945

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、デンタルミラーなどの医療向けガラス製品、洗濯機用ドアガラス、紫外線照射装置に使われるエキシマランプの蒸着加工などを含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	148,079
「その他」の区分の損失(△)	△39,133
全社費用(注)	△117,488
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△8,542

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	光学事業	照明事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,006,190	171,837	1,178,027	266,022	1,444,049
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,006,190	171,837	1,178,027	266,022	1,444,049
セグメント利益又は損失(△)	211,404	△10,471	200,933	△27,905	173,028

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、デンタルミラーなどの医療向けガラス製品、洗濯機用ドアガラス、紫外線照射装置に使われるエキシマランプの蒸着加工などを含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	200,933
「その他」の区分の損失(△)	△27,905
全社費用(注)	△123,739
四半期連結損益計算書の営業利益	49,288

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。